


## ひらめき ときめきサイエンス～ようこそ大学の研究室へ～ KAKENHI プログラム概要

研究機関名	広島大学			
プログラム名	考古学のなかの科学～動物骨・貝殻・土器・同位体で歴史・文化を探る～			
先生(代表者)	石丸 恵利子(いしまる えりこ)・広島大学総合博物館・研究員			
自己紹介	過去の食文化や人と自然との関わりへの興味から、動物考古学と同位体分析を用いた歴史の解明に取り組んでいます。研究はとても奥深く、ワクワクが尽きません。研究成果を未来のより良い暮らし役立てたいと思っています。旅行やドライブ、音楽、美味しいもの巡りなど、色々なものを楽しんでいます。			
開催日・募集対象	2024年8月31日(土)	受講対象者	小学5・6年生 中学生・高校生	募集人数 24名
集合場所・時間	広島大学(東広島キャンパス) 教育学部L棟202講義室		(集合時間)	9:00～9:30
開催会場	住所:〒739-8524 広島県東広島市鏡山1-1-1 アクセスマップ URL: <a href="https://www.hiroshima-u.ac.jp/access/higashihiroshima">https://www.hiroshima-u.ac.jp/access/higashihiroshima</a>			
内 容				
<p>本プログラムでは、本物の動物骨や貝殻、土器の観察、同位体分析の前処理体験を通して、人と動物とのかかわりを明らかにする歴史研究の意義や、自然との共生について考えること、また考古学のなかの暮らしや文化を読み解く科学の力やその研究成果を学びます。私たちの暮らしの中にある科学との関わりや研究の役割および歴史学の中にある科学の魅力と可能性を解説します。</p> <p>講義「動物考古学と同位体考古学」では、同位体分析を行う契機となった動物遺存体研究の基礎と現状、同位体の原理、研究によって明らかとなったさまざまな事例を紹介します。ビー玉を陽子や中性子に見立てた模型を製作して同位体を理解します。</p> <p>実習は4つ実施し、実習「標本について学ぶ - 観察と同定に挑戦」では動物骨の観察、貝殻の同定、土器の観察を行います。さまざまな動物骨を観察し、動物種と部位の形態の違いやその特徴を学習し、当時どのような動物が利用されたのかを学びます。貝殻の同定では形態のポイントを学び、利用された貝種やその生息域を学習します。土器の観察では粘土と焼成後の違いを学習します。実習「キャンパスの遺跡を歩く」では、キャンパス内の弥生遺跡の復元竪穴住居跡を見学し、実際の遺跡の場所で陽当たりや景観など、当時の暮らしや技術・文化を現地で想像します。実習「分析方法を学ぶ - 同位体分析のサンプリングに挑戦」では同位体分析の前処理を体験し、分析試料の採取や秤量、洗浄などの実際の作業を通して、化学分析の精密さや原理・行程を学びます。実習「先人のものづくりに挑戦」では、昔のものづくりを体験します。土器の表面に付けられた模様の施文や貝輪や鹿角の加工に挑戦し、遺跡から出土する貝輪や骨角器、土器の製作がどのくらいの労力が必要なのかを学びます。</p> <p>日頃触ることのできない文化財や骨格標本の観察、また同位体分析の前処理作業を是非体験してみてください。一緒に、歴史学の中の科学の魅力を感じ、楽しい時間を過ごしましょう。</p>				



昨年度の実習の様子

持ち物	特記事項
<ul style="list-style-type: none"> <li>・筆記用具</li> <li>・タオル類</li> <li>・帽子や日傘など(屋外を歩きます)</li> <li>・カメラやお好きな飲み物を持参していただいても結構です。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・昼食とクッキータイムの軽食や飲みものはこちらで用意します。食物アレルギーのある方は事前にお知らせください。対応ができない場合は、各自ご持参をお願いします。</li> <li>・作業がしやすく動きやすい服装で参加してください。</li> <li>・遺跡見学で屋外を歩きます。歩きやすい靴で参加してください。</li> <li>・豪雨や台風などの天候不良による公共交通機関の乱れ、また新型コロナウイルス感染症などにより健康や安全の確保が困難と予想される場合、中止や日程の変更をします。その際は、開催日前日までにご連絡します。</li> <li>・開催の可否は、広島県および広島大学主催イベント等開催の対応方針に従って決定します。</li> <li>・お申込みいただいた方には確認のメールをしますので、必ず内容を確認してください。</li> </ul>

スケジュール

9:00 ~ 9:30	受付 集合場所：広島大学(東広島キャンパス)教育学部L棟202講義室
9:30 ~ 10:00	開講式 (挨拶、自己紹介、オリエンテーション、科研費の説明)
10:00 ~ 10:30	<b>講義 「動物考古学と同位体考古学」</b> * 質疑応答含む
10:30 ~ 11:30	<b>実習 「標本について学ぶ - 観察と同定に挑戦」</b> * 質疑応答含む
11:30 ~ 12:10	<b>実習 「キャンパスの遺跡を歩く」</b> * 少雨決行。雨天の場合は博物館本館の展示見学
12:10 ~ 13:15	昼食、休憩
13:15 ~ 14:45	<b>実習 「分析方法を学ぶ - 同位体分析のサンプリングに挑戦」</b> * 途中休憩あり
14:45 ~ 15:15	クッキータイム・ディスカッション
15:15 ~ 16:30	<b>実習 「先人のものづくりに挑戦」</b>
16:30 ~ 17:00	修了式 (未来博士号の授与、感想発表、アンケート記入・回収、挨拶)
17:00	プログラム終了・解散

課題番号	24HT0126	分野	歴史・化学	キーワード	動物考古学 同位体考古学 動物骨 貝 土器 炭素 窒素 ストロンチウム
------	----------	----	-------	-------	--

## 《お問合せ・お申込先》

所属・氏名	広島大学総合博物館・石丸恵利子
住所	広島県東広島市鏡山1-1-1
TEL番号	082-424-6198
E-mail	ishimaru@hiroshima-u.ac.jp
申込締切日	2024年8月15日(木)
当プログラムは先着順にて受付を行います。	

## 《プログラムと関係する先生(実施代表者)の科研費》

研究期間	研究種目	課題番号	研究課題名
2024年度 ~ 2025年度	学術変革領域研究(A)公募研究	24H01577	動物遺存体の多元素同位体分析による資源利用の地域性と変遷の解明
2022年度 ~ 2026年度	基盤研究(B)(一般)	23K22011	多元素同位体分析による先史時代の資源利用と社会構成の多角的実態解明
2018年度 ~ 2021年度	挑戦的研究(萌芽)	18K18527	土器胎土のSr-Nd-Pb同位体分析による古代土器製作圏と流通圏の解明



この科研費について、さらに詳しく知りたい方は、下記をクリック！

<https://nrid.nii.ac.jp/ja/nrid/1000050510286>

国立情報学研究所の科研費データベースへリンクします。